

みっかんざか

12月号 (令和5年12月21日発行)

鹿児島市立武岡小学校



Tel 282-0061
Fax 282-0069

「人権週間を考える」

校長 猿渡 功

本校4年生の女子が書いた人権作文の一部である。

「一度くしゃくしゃにした紙は、どんなにもどそうとしても、ぜったいに元のじょうたいにはもどりません。私の心も同じです。今では、多くの友達に支えられて楽しい毎日を送っていますが、いじめられた経験は、ずっと心のおくそこにとどまり続けるのだらうと思います。いじめはゆるせないことです。」

何度も何度も、読み返したくなる文章だ。

12月4日から10日は、県の「人権週間」にもあたる。

誰も少なからず、心当たりがあることだらう。

彼女は言う。「出してしまった『言葉』は、元にはもどりません。心のきずは消えません。だからこそ、きちんと考えて口にしてほしいです。」

子どもたちに聞いてみた。「どんな言葉をもらって嬉しいですか？」

「ありがとう」「やさしいね」「一緒に遊ぼう」などだった。友達からこんな言葉を掛けられると、思わずにこっとしてしまう。いわゆる「ふわふわ言葉」だ。

言葉は目には見えないが、心には残ってしまう。だったら、その発せられる言葉が、「元気の出る・勇気のわく・やってみようと思えるもの」だと素敵である。

それは、教師とて同じことである。肝に銘じて、話さないといけない。

彼女は、最後にこう綴る。「今、みんなが生きていることは当たり前のことではありません。生まれてきたこと、生きていること、友達がいること、家族がいること…。すべてがきせきで大切なことだと思います。生きたくても生きられない人がいます。笑いたくても、笑えない人がいます。助けてほしくても、言葉に出せない人がいます。今ある自分の生活を大事にするとともに、周りですらい思っている人たちに気づいてほしいと思います。自分の命も、まわ

りの命も、みんな『大切な命』なのだから。」

世界に目を転じれば、今、こうやって学校便りを書いているこの瞬間、瞬間にも、大切な命が失われている。それぞれにもっと生きたかった世界を否応もなく閉ざされてしまったのだ。「もっと生きたかったらう。」「もっといろいろな人と出会いたかったらう。」「素敵な友達ともっと話をしたかったらう。」と思うと、心が締め付けられる。

今、有難くも生きている私たちは、改めて、自分自身を振り返るとともに、他者を思いやり、大事にする人権週間(人生)にしてほしいと強く願う。良いお年をお迎えください。

市音楽発表会

4年1組が学校の代表として市の音楽発表会に参加しました。大舞台上に緊張気味でしたが、今までで一番良い演奏ができたようです。子供たちは「緊張したあ」と帰ってきましたが、清々しい表情から満足感が伝わってきました。



いのちの授業

がんサポートかごしまの方を迎え6年生で「いのちの授業」を実施しました。

子供たちはいつも以上に真剣な表情で授業に参加をしていました。命についていろいろな角度から深くじっくりと考える貴重な時間となりました。



武岡小金管バンドありがとう!



12月17日(日)、武岡小金管バンドのお別れコンサートが開かれました。運動会での演奏、放課後音楽室から聞こえてくる音色も、もう聞けないかと思うと、1曲目から寂しさが募りました。しかし、後半は武岡小金管バンドOBも加わり、迫力のある演奏を楽しませてくれました。

金管バンドは、これまで長い間、武岡小や地域のイベントに参加して盛り上げてくれました。また音楽のすばらしさを伝えてくれました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当に長い間ありがとうございました。



1月の行事

- 9日(火) 始業式 ※給食ありの4時間授業
- 12日(金) 書き初め会 (各学級で実施)
- 13日(土) 土曜授業日
- 16・17日(火・水) 鹿児島学習定着度調査(5年)
- 19日(金) 武岡中入学説明会(6年) 武岡中
- 20日(土) PTA役員選考
- 26日(金) 半成人式(4年)

